

風しん抗体検査と予防接種について

1. 風しん追加的対策の目的

現在の風しんの流行状況を踏まえ、風しん拡大防止のため国は風しんの追加的対策として抗体保有率の低い世代の男性に対し、風しん抗体検査を実施し、抗体価が陰性であった人に対し、風しんの予防接種を実施することとしました。

抗体検査と予防接種を希望される人は、裏面のフローに従い、あなたがこの度の風しん追加対策の対象者かどうかご確認ください。

2. 対象者

枚方市に住民票のある

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち

平成31年4月から令和4年12月時点で抗体検査を受けていない人に抗体検査と予防接種のクーポン券を（令和5年3月末）送付しています。

クーポン券は、抗体検査、予防接種実施時にご持参ください。

3. 抗体検査

抗体検査血液検査（HI法、EIA法その他）

4. 予防接種

抗体検査を実施した結果、風しん抗体価が陰性であった人を対象に麻しん風しん混合（MR）ワクチンを接種

5. 費用

無料

6. 必要書類

- 住所や年齢を証明するもの（健康保険証、運転免許証等）
- 抗体検査と予防接種のクーポン券
（紛失等の場合は、母子保健課までお問い合わせください。）
- 予防接種時は、上記に加え抗体検査結果票（平成26年4月1日以降のもの）

7. 実施期間

令和6年（2024年）3月31日まで

8. 受け方

市内取扱医療機関に直接申し込み。

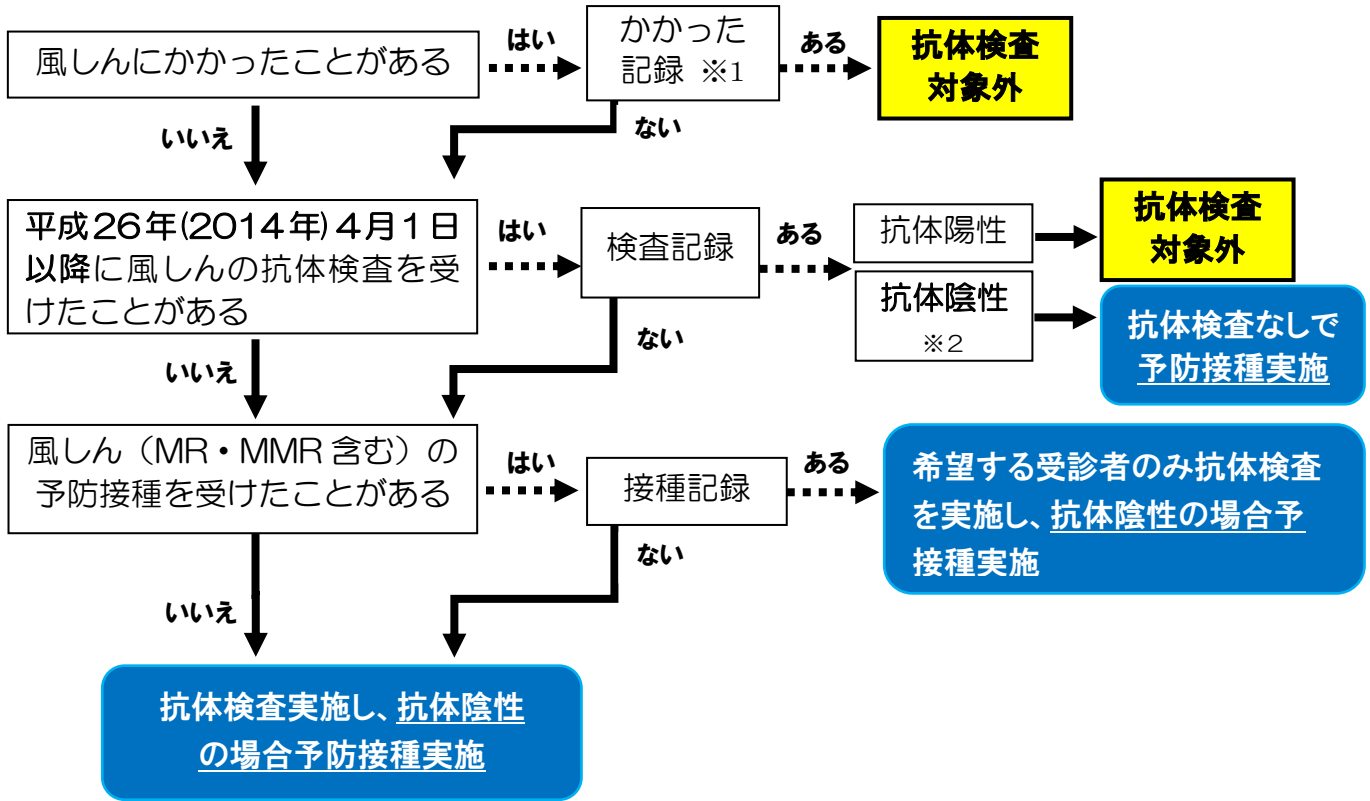
当日は必要書類を持参し抗体検査、予防接種をお受けください。

問い合わせ：枚方市 健康寿命推進室 母子保健課

電話072-840-7221

FAX072-840-4496

風しんの抗体検査実施から予防接種実施へのフロー



※1 かかった記録は、ウイルス遺伝子検査(PCR法)による風しんウイルス遺伝子の検出、ウイルス分離・固定による風しんウイルスの検出、風しん抗体の検出(IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意な上昇)により医師がかかったと判断した場合の記録です。

※2 抗体検査結果が陰性であるとは、「定期接種の対象となる予定の風しん抗体価」を満たすものをいいます。詳しくは医療機関にご相談ください。

風しんに関する豆知識

Q：なぜ風しんへの抵抗力が必要なのですか？

A：電車や職場など人が集まる場所で、多くの人に感染させる可能性があります。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。

風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。

小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。

まれに、高熱や脳炎になって入院することがあります。

成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。